

# 交通・運輸

## 道路

管内の主要幹線道路は、稚内市から旭川市内に至る国道40号、オホーツク沿岸を経て網走市に至る国道238号及び浜頓別町から上川管内音威子府村を経て札幌市に至る国道275号があります。このほか、主要道道9路線、一般道道50路線が、管内の各地域を結んでいます。この中において、国道40号では、冬期の地吹雪による交通障害を解消し、安全性、定時性を確保するため高規格幹線道路である「豊富バイパス（豊富町上サロベツ）」と「幌延バイパス（幌延町元町～豊富町上サロベツ）」が、開通しています。

道路交通への依存度が高い管内では、こうした道路が、生活道路としての利用はもとより、高度医療機関への安全・確実な緊急搬送、管内の基幹産業である農水産物の安定的な出荷や地域の観光振興に貢献しています。

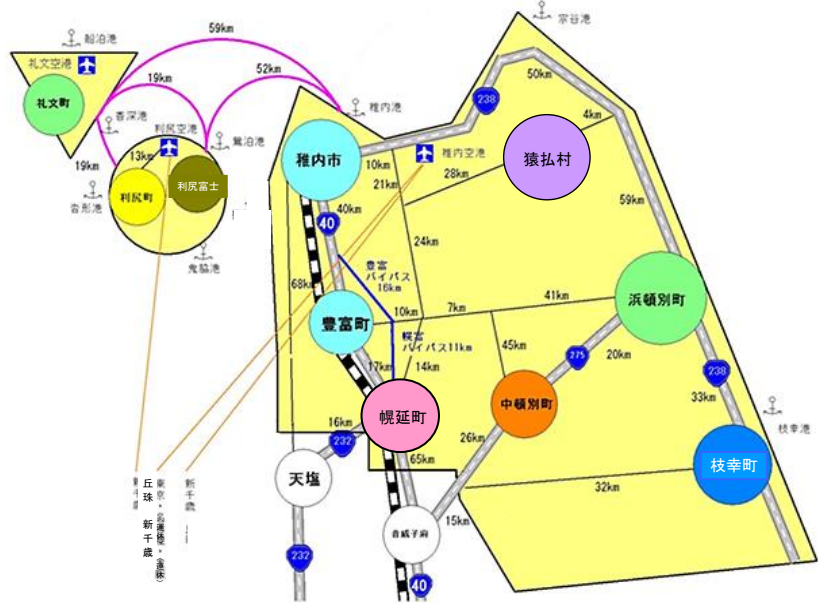
## 鉄道

管内の鉄道は、稚内・豊富・幌延から旭川に至るJR宗谷本線があります。旭川～名寄間が高速化されて以降、稚内～札幌間に特急列車が運行されており、所用時間は最短で約5時間となりました。平成29年3月のダイヤ改正により特急列車の3往復中2往復が旭川乗換となりました。

## バス

猿払村、浜頓別町、中頓別町及び枝幸町においては、乗合バスが唯一の公共交通機関となっています。少子高齢化やマイカーの普及などにより、乗合バスの輸送需要は減少傾向にありますが、通勤や通学、通院など、学生や高齢者等の移動手段を持たない住民にとっては唯一の交通手段となっており、地域住民の足を支える重要な交通機関となっています。

また、都市間バスは、稚内と札幌、枝幸と札幌、旭川を結んでいるほか、豊富～札幌間、猿払～旭川間において運行されています。



特急列車	稚内～札幌 「宗谷」…約5時間10分 「サロベツ」…約5時間20分
都市間バス	稚内～札幌……………約6時間 豊富～札幌……………約5時間 枝幸～旭川……………約3時間半 枝幸～札幌……………約5時間半 猿払～旭川……………約5時間
利礼航路	稚内～利尻(鶯泊)……………1時間40分 稚内～礼文(香深)……………1時間55分 利尻(鶯泊・沓形)～礼文(香深)……………45分
航空路線	<道内> 稚内～新千歳……………55分 利尻～丘珠……………1時間 利尻～新千歳……(6月～9月)……………50分 <道外> 稚内～東京(羽田)……………1時間55分～2時間

所要時間は季節、往路と復路によって異なる場合があります。  
航空路線：稚内～大阪(関西)・名古屋(中部)は、平成24年度で運航が終了しました。

## 港湾

管内の重要港湾稚内港は、物流拠点であるとともに漁業基地となっており、平成23年には日本海側拠点港に認定されています。

また、サハリン石油・天然ガス地下資源開発支援プロジェクトの進展に伴い、国際経済交流の拠点としての発展も期待されています。平成29年の輸出入総額は約39.5億円(前年比178%風力発電部品の輸入増)と大幅な増加となっています。

このほか、管内には5つの地方港湾があります。

## 航路

管内には、稚内と利尻島・礼文島、また、利尻島と礼文島を結びフェリーが運航しており、離島住民及び観光客の重要な交通手段となっています。平成28年度の利用者数は、439,015人(前年度比91.6%)となっています。

また、稚内とサハリン州コルサコフ間には、平成27年度まで国際フェリー定期航路が運航しておりました。平成28年度から第三セクターによる旅客船のみの運航となっています。(平成29年利用実績1374人)

## 空港

管内には、拠点空港(国管理空港)の稚内空港、地方管理空港の利尻空港及び礼文空港があります。

現在、稚内空港に就航している定期便は東京・新千歳の2路線ですが、近年国内各空港からのチャーター便が増加している傾向にあります。

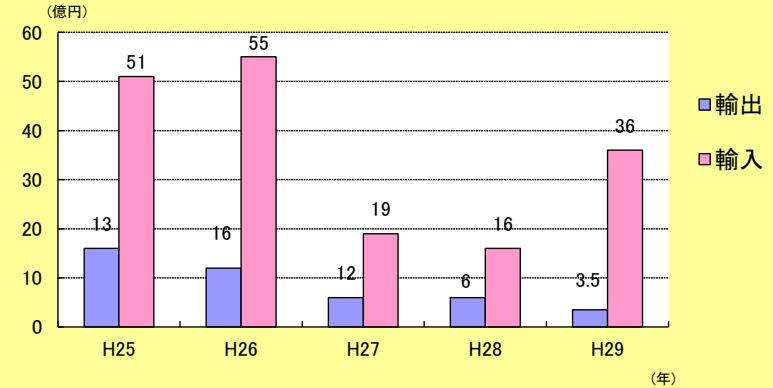
利尻空港は、平成23年10月から、利尻-丘珠便(通年)が就航(HAC)し、利尻-新千歳便(ANA)は夏季(6~9月)のみの季節運航となっています。

礼文空港は、平成21年4月から運用休止中です。

平成28年度の利用者数は、稚内~東京便は112,919人(前年度比100.3%)、稚内~新千歳便は50,642人(同109.3%)、利尻~新千歳・丘珠便はあわせて、40,715人(前年度比110.6%)となっています。

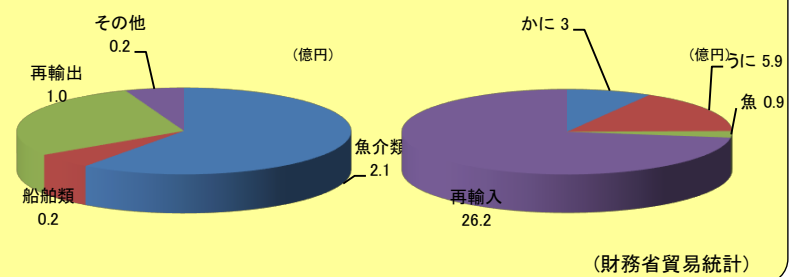
### ■ 稚内港の輸出入実績の推移

(財務省貿易統計)



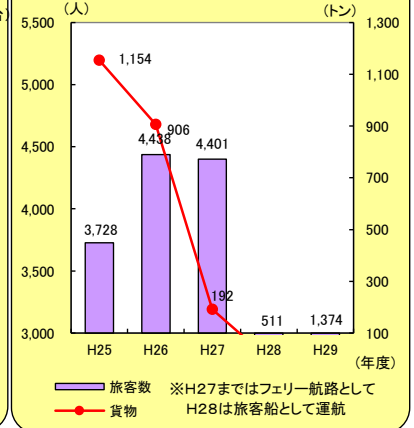
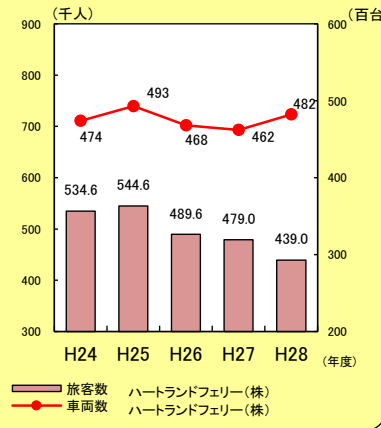
### ■ 平成29年輸出品目

### ■ 平成29年輸入品目



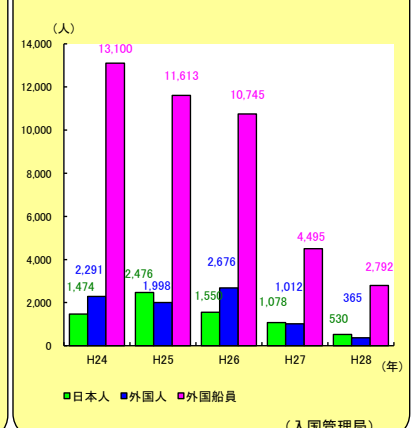
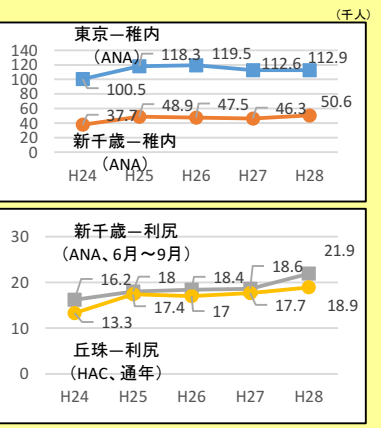
### ■ 利札航路旅客数及び車両数の推移

### ■ 稚内コルサコフ定期航路輸送量の推移



### ■ 稚内空港・利尻空港発着便利用者数の推移

### ■ 出入国者数の推移



### ■ 管内空港概要

名称	種別	設置管理者	滑走路規模	開港
稚内	国管理空港	国土交通省	2,200m × 45m	昭和35年4月(滑走路1,200m)
利尻	地方管理空港	北海道	1,800m × 45m	昭和37年8月(滑走路600m)
礼文	地方管理空港	北海道	800m × 25m	昭和53年6月(滑走路800m) (平成21年4月から運用休止中)